

みんなの子育て掲示板

彦根市社会教育委員の会議では、「彦根の子どもを地域で守り育てるために～学校・家庭・地域・職場の連携・協働のもとで～」をテーマに、子どもたちの未来のための連携・協働のあり方について協議しています。

家庭の教育力の充実・向上に向けて、PTAや諸団体の皆様にアンケートを実施し、回答をまとめた、子育てのヒント・アイデア集となる「みんなの子育て掲示板」を作成しました。各家庭の取り組みは様々です！皆さんの取り組みもぜひお寄せください。



毎日あいさつ

- ・必ず目を見てあいさつしています。子どもの体調など様子がわかります。
- ・子どもからあいさつが返ってこなくても、こちらから必ずあいさつしています。たまに、返してくれることもあります！
- ・毎朝「〇〇おはよう」と名前を呼んであいさつするようにしています。
- ・出かけるときは、玄関まで行って「行ってらっしゃい。気を付けて。」と言うようにしています。
- ・周りの人に親があいさつする姿を見せるようにしています。自然と子どももあいさつするようになりました。
- ・朝起きた時、名前を呼んでからあいさつをしています。
- ・毎日あいさつをするために、家族でリビングで過ごしています。
- ・子どもと散歩し、親が近所の人と話をする事によって、子どもも積極的にいろいろな人と話すようになりました。



伝えよう 感謝の気持ち

- ・些細なことでも必ず感謝の気持ちを伝えるようにしています。お互いに気持ちよく過ごすことができます。
- ・家族であっても、年上年下に限らず「ありがとう」はきちんと言葉にするように努めています。感謝の気持ちをきちんと言葉にすることが当たり前になりました。
- ・夫婦間で、感謝の気持ちを伝えるようにしています。そんな家庭で子どもが育てくれればと思います。
- ・したことに対して「ありがとう」や「助かるわ」と伝えています。うまくできたことは、具体的に伝えると、さらにやる気をもってやっているように思います。
- ・小さなことでも「ありがとう。うれしい。」と気持ちを伝えるようにしています。感謝されることで自分に自信をつけているようです。
- ・具体的に「どう助かったか」を伝えることで、子どもに対する感謝の思いがより伝わり、自尊心の向上につながっていると考えています。



みんなで読書

- ・寝る前には、絵本を小学校低学年まで読み聞かせをしていました。図書館にもよく連れて行きました。
- ・10年以上、毎晩絵本の読み聞かせをしていました。ある晩、子どもが「自分で読むわ。」と言いました。それは突然でした。読書の自立でした。
- ・子どもに読書をさせるというよりも、まず、親である自分がいつでも読書ができる環境を作っています。ダイニングテーブルの私の席に、私が今読んでいる本を置くようにしています。
- ・子ども年代にもよりますが、今のスマホの時代、無理に読書をさせていません。タイミングよく声がけし、一緒に図書館へ行くなどしています。
- ・宿題の音読がやる気にならない時は親子で句点ごとに順番に読んでいます。あとは寝る前に絵本を選んで一緒に声に出して呼んだりしてる程度です。
- ・仕事で遅くなり、保育園に迎えに行けないこともありましたが、夜は必ず一緒にお布団の中で、読み聞かせをしていました。お話に対する感想などとも言っていました。
- ・子どもと親は別々の本を読みますが、一緒に本を読む時間を作っています。
- ・家の中に本を置いています。親も本をよく読んでいます。
- ・大人が、新聞や本を読むことを楽しむ姿を見ると、子どもも自然に絵本に手を伸ばしていきます。

我が家のルール

- ・家族の一員として、仕事を分担したり、自分の洗濯物などは自分で片付けさせています。
- ・スマホ使用のタイムリミットや、スマホの充電器はリビングのみに置くなどのルールを子どもと一緒に決めました。
- ・「言葉遣いを丁寧に。外で出会った人にもあいさつを」というルールを決めています。
- ・何事も親も子も納得できるように、また、親の言いなりにならないように、よく話し合うようにしています。
- ・家族としての自覚と責任感を育てられるように日々コミュニケーションを図っています。
- ・生活面においては、ルールというよりは、その時、その時に注意して、納得できた事柄を決めことにしています。
- ・「義務を怠ると権利はなくなる」というルールにしています。やるべきことをやってから、やりたいことをするようになってきています。
- ・お風呂に最後に入った人が、お風呂掃除をするようにしています。